

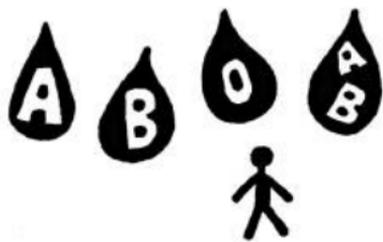
私の血液型はO型です。資料などが散らかった部屋を訪れる人に「先生はO型ですよね〜」などとからかわれたりします。確かにO型はおおらか、A型はきちょうめん、B型はマイペース、などと言う人も多いようです。

しかし、ABO式血液型で性格が左右されるという科学的根拠はほとんどありません。海外の友人と話しても、日本の「血液型性格分類」は奇妙に思われているようです。この迷信は日本発で、韓国や台湾にも飛び火しています。

例えば白血病の治療で骨髄移植を行う場合、移植したドナーの骨髄が血液をつくり出すようになるため、患者の血

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

つつあります。心臓病や肺塞栓症（エコノミークラス症候群）など多くの病気において、私のようなO型は、A型、B型、AB型の人よりリスクが低いとされています。

膵臓（すいぞう）がんの発症リスクも血液型に関連するというデータが集まっています。2009年に米国立がん研究所が発表した研究で「O

て、調査期間中に膵臓がんを発症した316人について喫煙、飲酒、年齢、遺伝など他の要素を除外したうえで、発がん血液型との関連を分析しました。その結果、膵臓がんの発症リスクはO型が一番低く、B型のリスクはO型に比べ約1・7倍、AB型は約1・5倍、A型は約1・3倍でした。

日本や台湾でも同様の調査結果が出ています。胃がんがA型に多いというデータもあります。ただ、血液型より日々の生活の方がはるかに発がんリスクを左右します。血液型の変更は難しいですが、生活習慣を変えることで、がんの予防は十分に可能です。

（東京大学病院准教授）

血液型と発症リスクの関係

液型がドナーの型に変わることがあります。骨髄移植の前に全身に放射線照射（最大1万2千ミリシーベルト）を行うことも

りません。しかし、血液型の変更で性格まで変わったという患者は一人もいません。

型の人A、B、AB型の人に比べ、膵臓がんになりにくい」と結論づけています。

この研究では、米国の医療スタッフ約10万人を8年以上にわたり追跡しました。そし

多いため、血液型が変わった患者と接することは珍しくあ

が異なることが明らかになり

スタツフ約10万人を8年以上にわたり追跡しました。そし